

2020年度琉球大学人文社会学部 第3年次特別編入学学生募集

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

教育理念・目的

（国際法政学科）

本学科は、法学・政治学・国際関係学を中心とする社会科学分野の教育研究を担っており、これら専門分野の学修と研鑽を通して、現代社会における諸問題を総合的かつ体系的にとらえて、問題の本質を見極め思考する人材の育成を目的としています。

（人間社会学科）

人間と社会に関する専門的な知と幅広い学際的知を基に、誰もが個人の尊厳を保ち、自由・公平に、また安心・安全に生きることが出来る社会を形成できる人材を養成します。人間と社会に関する専門的な知識と豊かな学際的知を有し、社会的弱者に配慮し、心豊かで安心・安全に暮らせる社会を実現するための実践力を身に付けさせる教育・研究を行います。

（琉球アジア文化学科）

沖縄・琉球を始めとする日本、中国、台湾、朝鮮半島などのアジア地域の文化について深く理解し、国際的なレベルで活躍できる人材、地域社会の発展に寄与できる人材の育成を目的としています。

求める学生像

（国際法政学科）

法学プログラム

人間社会や社会諸科学（特に法学）への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲、自己を表現する高い能力を持った人を求めています。

政治・国際関係学プログラム

人間社会や社会科学への深い関心、柔軟な思考力、主体的に学ぶ意欲を持った人を求めています。社会科学分野の専門科目を学ぶために必要な基礎学力と思考力、専門文献の読解力、情報リテラシーと論文執筆の基礎知識、対話や討論の能力を有している人を求めています。

（人間社会学科）

- (1) 大学での学びの土台となる基礎学力を持ち、多面的な観点から物事を考察し、多様な人々と協働しながら自分なりの意見をまとめることができる人
- (2) 思想・教育・心・社会に強い関心を持ち、よりよい生き方や教育・市民社会の発展・生活問題の解決に貢献したいと思う人
- (3) すべての科目で十分な基礎学力を有し、論理的思考・問題解決能力に秀で、専門的学問分野・職業に対する目的意識が高く興味関心が明確な人

（琉球アジア文化学科）

研究対象である琉球アジア言語文化圏（沖縄、日本、中国、台湾、朝鮮半島）の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を有し、彼我の相違と類似性の面に目を向けつつ主体的・積極的研究のできる人を歓迎します。

具体的には、①専攻分野の研究資料・情報を収集する能力 ②収集した資料や情報の整理・分析を通して独自の視点から意見を持ちうる能力 ③研究した成果を論理的にまとめて説得力のある発表のできる技能 ④他者との議論、意見交換を通して多様な見解や価値観を学び、内省し、柔軟に修正・改善する姿勢を持った人を求めます。

入学者選抜の基本方針

(国際法政学科)

法学プログラム

法学・政治学・国際関係学の分野の中から出題する小論文試験を課し、理解力・考察力・論理的思考力・記述力、専門科目に関する基礎学力を評価します。

出願書類（成績証明書、志願理由書）を踏まえた面接によって、基礎学力・意欲・目的意識・適性・表現力等を評価します。

政治・国際関係学プログラム

英語の試験を課し英語能力を評価します。

法学・政治学・国際関係学の分野の中から出題する小論文試験を課し、理解力・考察力・論理的思考力・記述力、専門科目に関する基礎学力を評価します。

出願書類（成績証明書、志願理由書）と、それを踏まえた面接による口頭試問を課し、意欲・目的意識・表現力・適性、編入後の修学に必要な基礎学力、対話や討論技術が備わっているかどうかを評価します。

(人間社会学科)

筆記試験によって専門分野に関する知識や、理解力、論理的思考力、記述力などを評価します。また面接によって、編入学の動機、学習意欲、適性及び主体性・協働性などを評価します。

(琉球アジア文化学科)

筆記試験によって基礎的語学力および専門分野に関する知識、理解力、論理的思考力、記述力などを評価します。また面接によって編入学の動機、学習意欲、適性、表現力などを評価します。

募集学科及び募集人員

学 科	募集人員	プログラム
国 際 法 政 学 科	4 名 ※注 1	法学プログラム 政治・国際関係学プログラム
人 間 社 会 学 科	4 名	哲学・教育学プログラム 心理学プログラム 社会学プログラム
琉球アジア文化学科	2 名	歴史民俗学プログラム 文学プログラム 言語学プログラム
計	10 名	

※注 1 国際法政学科の学力検査等は志望プログラム毎に行います。プログラム毎の目安人数は次のとおりです。 法学プログラム：2名、政治・国際関係学プログラム：2名

出願資格

- (1) 大学を卒業した者又は2020年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学，高等専門学校を卒業した者又は2020年3月卒業見込みの者
- (3) 旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること，その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は2020年3月修了見込みの者で学校教育法（昭和22年律第26号）第90条に規定する者
 文部科学大臣の定める基準とは，「修業年限が2年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上」です。
- (5) 高等学校の専攻課程，中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることとその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法第90条第1項に規定するものに限る。）
- (6) 修業年限4年以上の大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し，62単位以上を修得した者又は2020年3月をもって2年間在学し，62単位以上を修得見込みの者
- (7) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条の規定により大学の第3年次に編入できる者
- (8) 外国において学校教育における14年以上の課程を修了した者及び2020年3月修了見込みの者

試験科目

学 科	学力検査等		
国際法政学科	(学科共通試験)	筆記試験	(小論文) 専門分野の基礎知識、理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完成度等を評価する。
	(法学プログラム)	面接	基礎学力、意欲、目的意識、適性、表現力等を評価する面接を行う。
	(政治・国際関係学プログラム)	筆記試験	(外国語) 英語
		面接	口頭試問により、意欲、目的意識、適正、表現力、編入後の修学に必要な基礎学力、対話や討論技術等を評価する。
人間社会学科	筆記試験	(外国語) 英語，中国語の中から1科目選択 (小論文) 哲学・教育学，心理学，社会学の3分野の基礎問題から1つを選択	
	面接	編入学の動機、学習意欲、適性及び主体性・協働性を評価する面接を行う。	
琉球アジア文化学科	筆記試験	(外国語) 英語，中国語の中から1科目選択 (科目) 琉球アジア文化（歴史・民俗学、言語学、文学）に関する基礎問題から1つを選択	
	面接	意欲、目的意識、適性、表現力等を評価する面接を行う。	

配点

学 科	配点					
	外国語	小論文・科目	学業成績表	志願理由書	面接	合計
国際法政学科 (法学プログラム)		100	100			200
国際法政学科 (政治・国際関係学 プログラム)	100	100	100			300
人間社会学科	100	200	200			500
琉球アジア文化学科	100	200	200			500